

2月の植物

ニセナガバジュズネノキ (アカネ科)

Damnacanthus giganteus Nakai var. *pseudo-giganteus* (Hatusima) Hatusima

シイやタブなどの照葉樹林内に生えるアリドオシの仲間です。写真は1月に大野溪谷で観察したものです。雪が積もる林内で、緑の葉の陰に小さな赤い実が並んでいました。よく見ると、5mmほどの果実のそばにさらに小さい緑色の蕾もついていました。

花の時期は5~6月で、白い筒状の花は、4~5裂した先端部分だけ緑色になります。葉は大型で長さ8~14cm、他のアリドオシの仲間に見られるような鋭いとげはありません。ニセナガバジュズネノキの根は、その名の通り“数珠”のように肥厚します。

よく似るナガバジュズネノキとは、葉の最大幅の位置を比べると見分けられます。ナガバジュズネノキは、最大幅が中央部より下の方にきますが、ニセナガバジュズネノキでは、葉の中央部より上で最大幅となります。

ニセナガバジュズネノキは伐採などにより減少し、県内での分布は限られているため、佐賀県レッドリストで絶滅危惧Ⅰ類種に選定されています。

